



		2024年							2025年							通期
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	上期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	下期	
既存店	売上高	101.6	109.3	101.9	100.8	105.0	104.2	103.9	103.6	101.8	105.6	103.8	103.6		103.7	103.8
	客数	101.8	105.8	102.0	100.0	103.5	102.8	102.7	102.5	98.7	102.4	101.8	100.3		101.2	102.0
	客単価	99.8	103.3	99.9	100.7	101.5	101.4	101.2	101.1	103.1	103.2	101.9	103.3		102.5	101.8
全店	売上高	106.0	116.0	109.1	108.8	113.0	113.1	111.1	112.6	111.4	114.8	112.5	114.1		113.2	112.0
	新規出店数	5	1	3	3	5	3	20	4	1	2	1	3		11	31
	閉店店舗数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		1	1
	全店舗数	323	324	327	330	335	338	338	342	343	345	346	348		348	348

### 概況コメント

(環境) 当月上旬は周期的に変わりやすい天候となりました。中旬は気温が上昇した一方、下旬は雨天日が多く、寒暖差が大きくなりました。

休日(土曜日)が前年同月と比較して1日多いカレンダーで、既存店売上高を1.3ポイント押し上げました。

既存店売上高は48ヵ月連続で前年を上回る記録を更新しました。粗利上昇の施策の導入が、客数及び客単価に影響を及ぼしました。

(商品) 食品は、グロスアリーは、パックごはんやレトルト食品に加えて、コーヒーなどの嗜好品が高い伸び率を記録しました。デイリーは、パンや冷凍食品が伸長しました。フレッシュにおいて、青果はカットフルーツ、鮮魚は刺身や塩干物、精肉は豚肉や鶏肉がそれぞれ貢献しました。惣菜は、寿司や丼物に加えて、揚物などの温惣菜が好調となりました。

非食品は、ゴールデンウィーク前半は天候に恵まれて、工具などのDIY用品が伸長しました。その他、生活家電や寝具が貢献しました。

(店舗) ・5月度の新規出店: 3店 スーパーセンター: 三豊店(香川県)、錦ヶ丘店(宮城県) smart: 上尾小泉店(埼玉県)

・5月度の閉店: 1店 TRIAL GO: 前橋日吉町2丁目店(群馬県) ・改装リニューアルオープン: 0店

※ 売上高の前年同月比はPOSデータに基づいた速報値であり、決算数値と異なる可能性があります。

※ 概況コメント欄の天候は、当社店舗が多く所在する福岡県を中心に記載しております。

※ 「グロスアリー」は菓子類などの加工食品、「デイリー」は卵や乳製品などの日配品、「フレッシュ」は生鮮四品(青果・精肉・鮮魚・惣菜)、「生活」は日用消耗品や家庭用品、「ハード」は家電製品などの耐久性商品、「アパレル」は衣料品を示しております。